

未来投資会議 第16回

日時：5月17日（木）

場所：官邸(4階大会議室)

85歳以上人口が急増

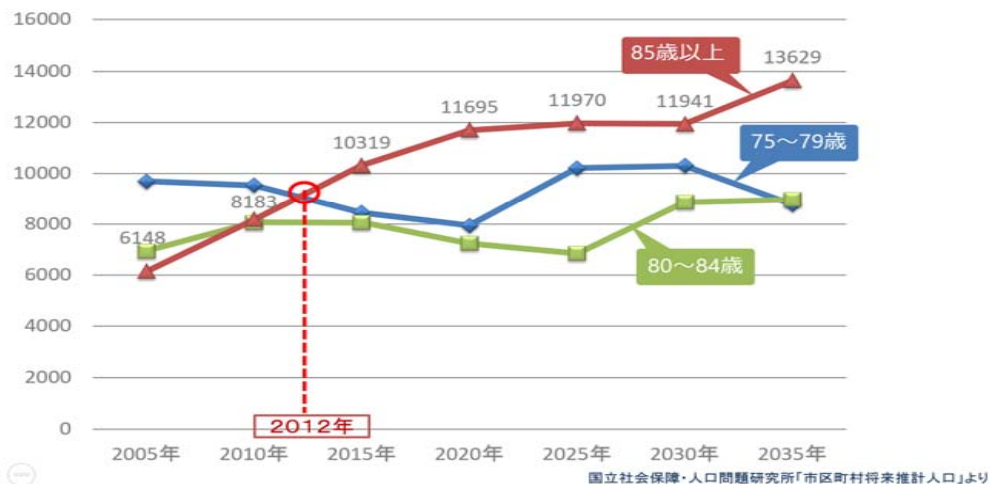
ICTを活用し「治し支える医療」への転換を本格化

社会医療法人祐愛会織田病院

理事長 織田正道

85歳以上人口の急増により地域医療が大きく変わった！

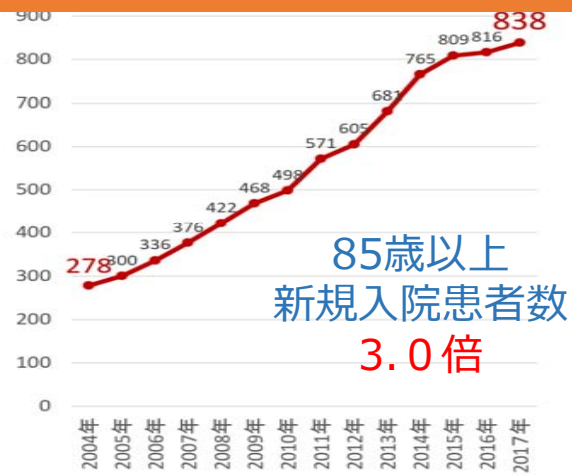
佐賀県南部医療圏・後期高齢者人口



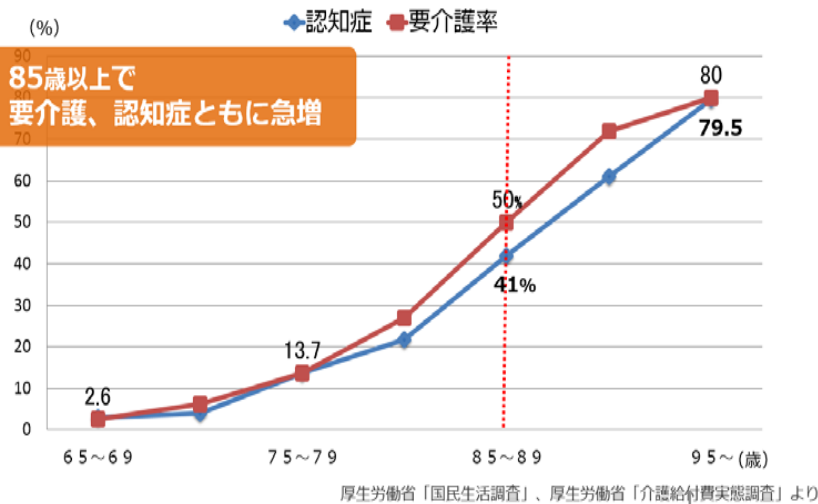
85歳以上の救急搬送患者数(当医療圏)



85歳以上の新規入院患者数(当院)



年齢階層別の要介護（要支援）認定率と認知症有病率

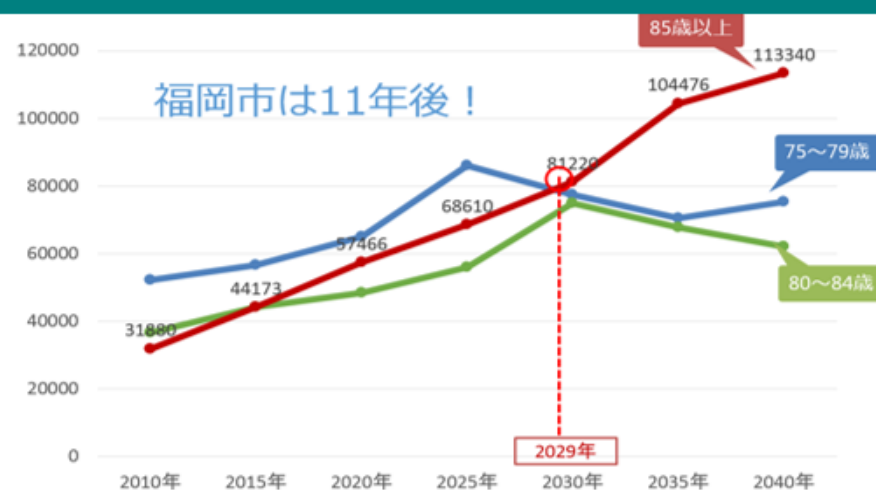


10年後、大都市も首都圏も同様の状況になる！

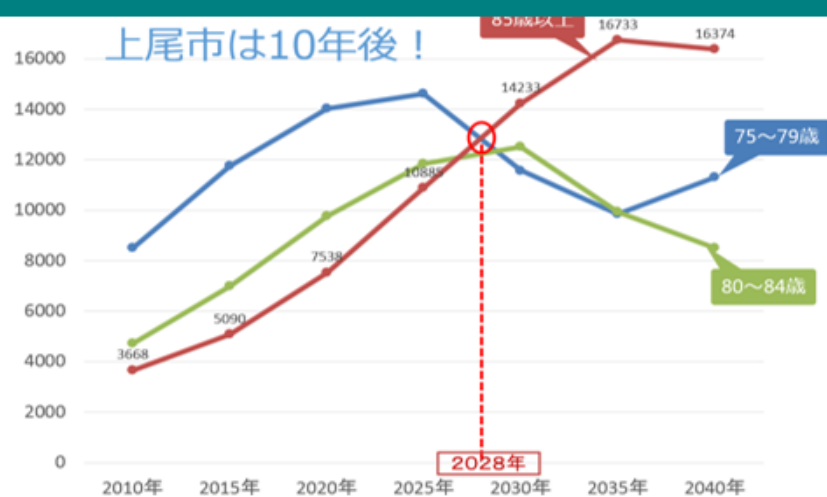
岡山市・後期高齢者人口推移



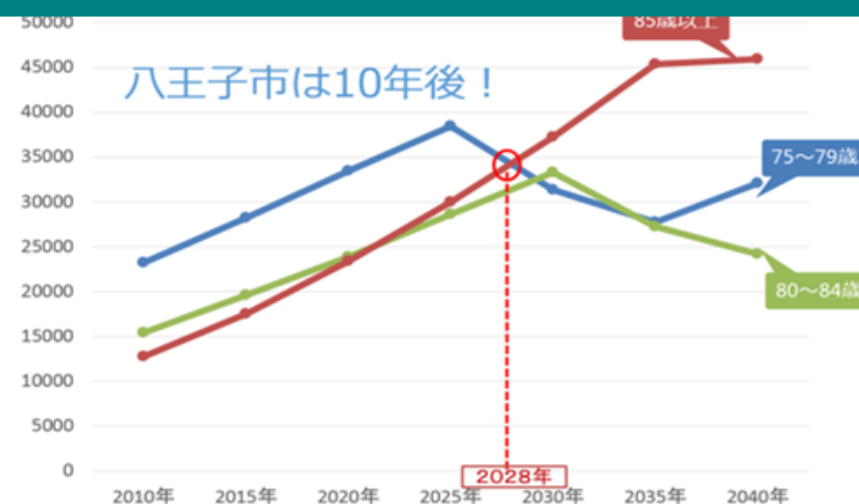
福岡市・後期高齢者人口推移



上尾市・後期高齢者人口推移



八王子市・後期高齢者人口推移

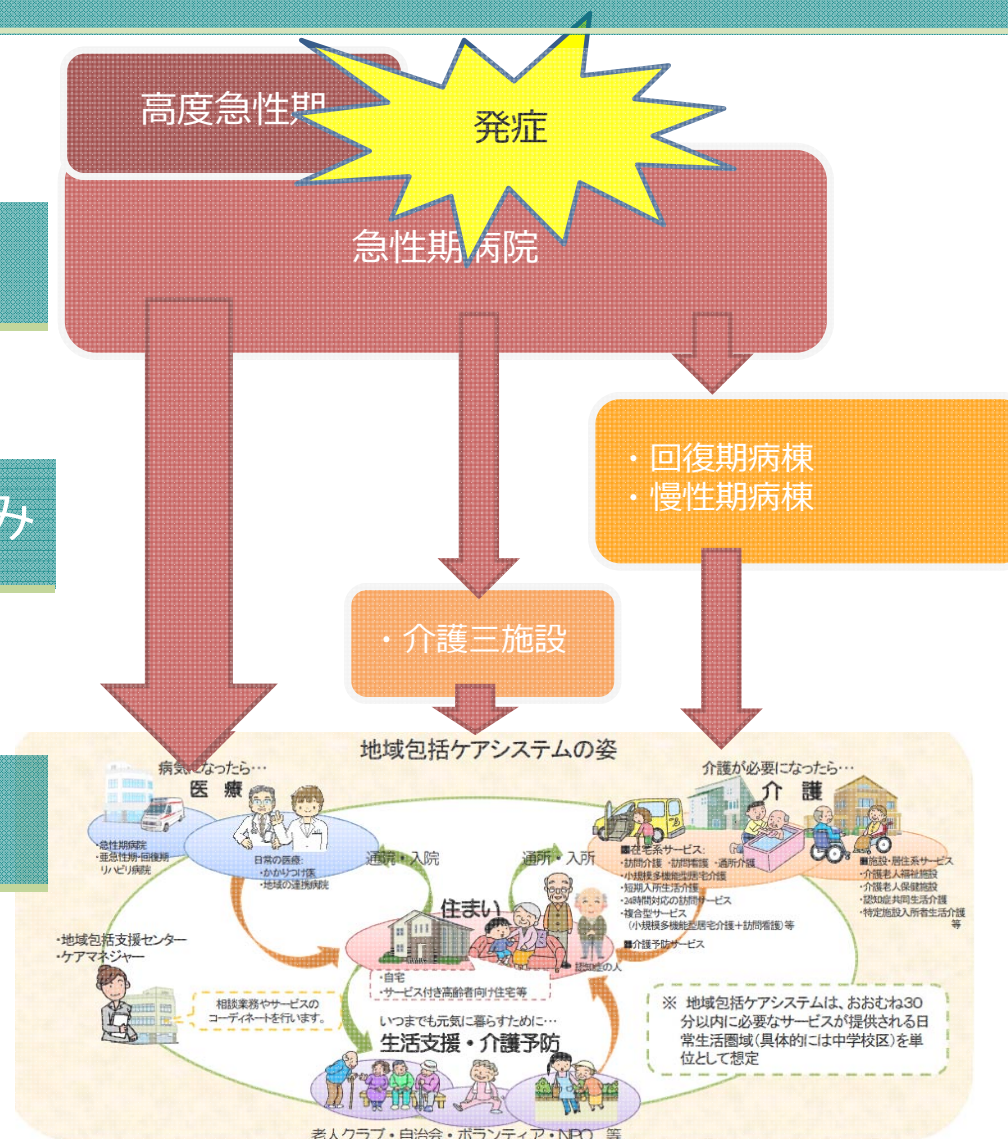


「治す医療」から「治し支える医療」への転換

①院内）安心して在宅へ帰す仕組み

②退院直後）ケアの継続を図る仕組み

③在宅）地域と共に支える仕組み



①院内）安心して在宅へ帰す仕組み

入院時より多職種が情報共有



藥劑師・管理栄養士・MSW・PT病棟専従



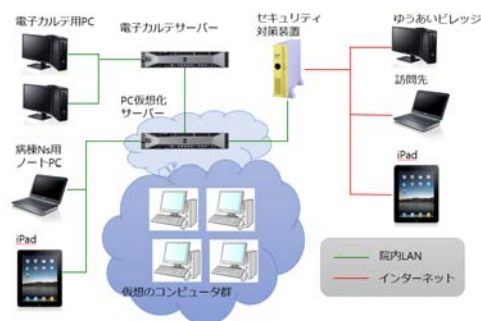
退院に向け問題点確認



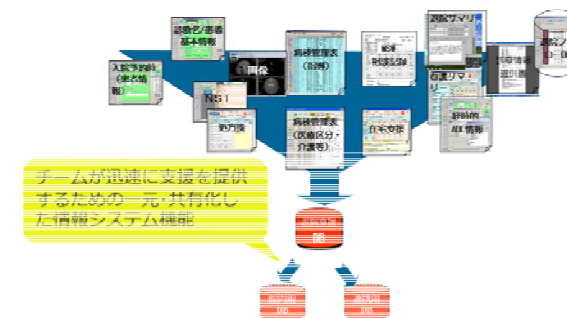
入院時より多職種が情報共有し、在宅に向け退院支援

[illegible]

電子カルテ



電子カルテのクラウド化



退院支援DB

②退院直後）ケアの継続を図る仕組み

在宅医療支援チーム（MBC：Medical Base Camp）結成



退院直後の2週間支援を行い、症状が安定した時点で地域のかかりつけ医にバトンタッチ



退院決定患者リアルタイムで表示

A screenshot of a real-time patient status dashboard. It displays a grid of patient information, including names, dates, and status. The dashboard is organized into columns for different patient groups and rows for specific dates and times.

在宅支援チームの動態管理



見守りシステム



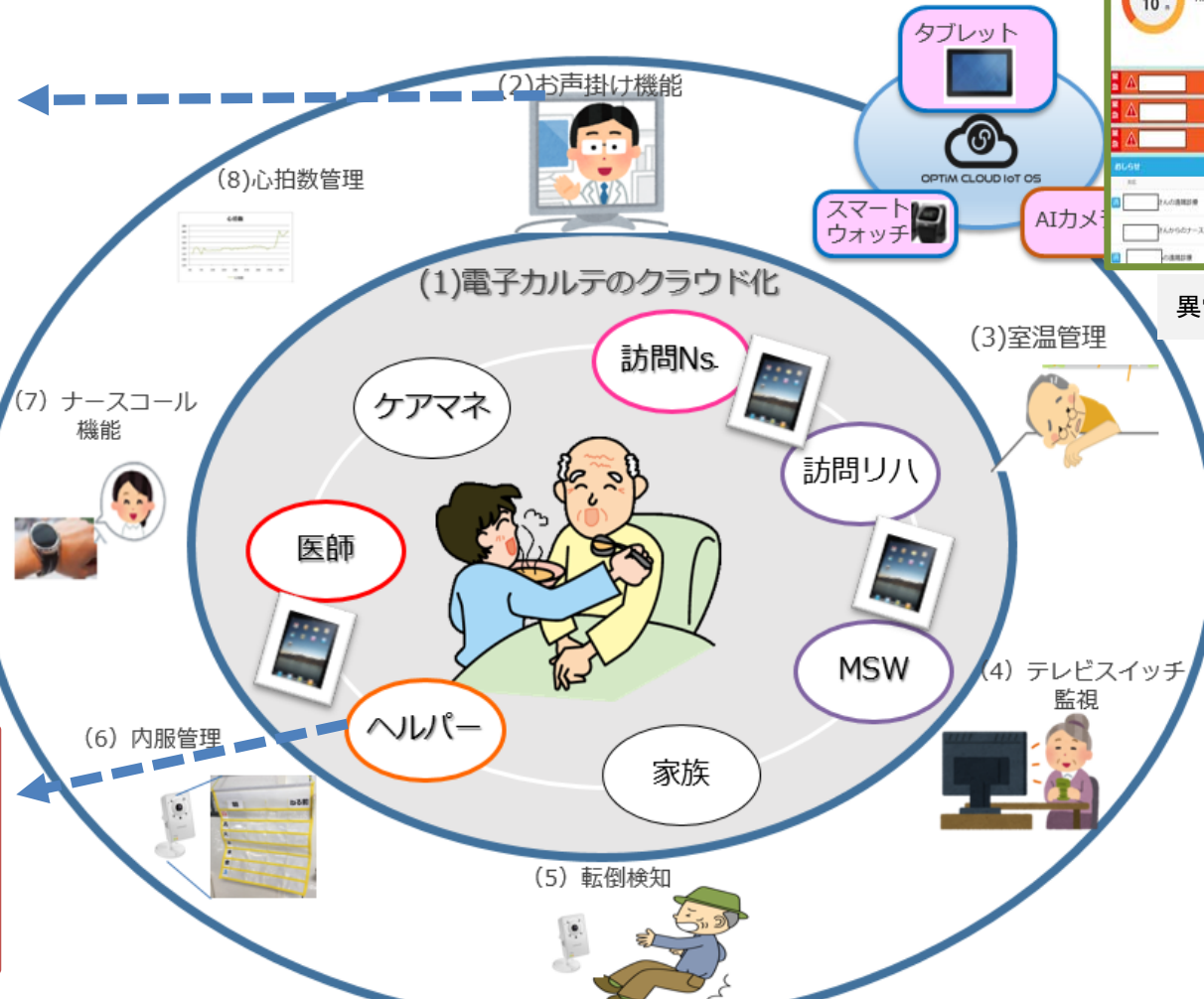
③在宅）地域と共に支える仕組み

・IoT・AIの活用で在宅での見守り効率化

自宅のテレビで、通話が何時でも可能となり、高齢の患者さんの安心につながる



在宅でも、電子カルテへ直接入力が可能



異常を検知するとMBCモニターにアラート表示

まとめ

全国の中でも、高齢化の進展が早く、すでに85歳以上人口が急増している地方での取り組みだからこそ、参考になるものとする。

・ 多職種協働フラット型のチーム医療

①入院時より多職種が情報共有(専門職棟専従)

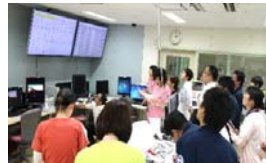


入院

②退院に向けた問題点確認



③退院前カンファランス



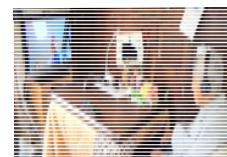
④退院直後の在宅支援チーム (MBC)



⑤地域包括ケアを支援



⑥オンライン診療



退院

①退院支援DB構築

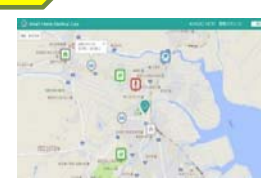


②入院前・入院時情報

③退院支援患者管理システム

④入・退院決定者情報

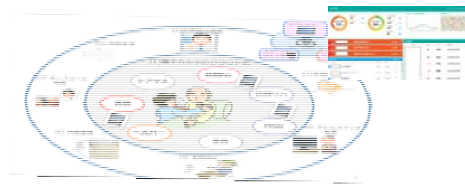
⑤在宅患者宅マッピング



⑥電子カルテのクラウド化



⑦IoT・AIによる在宅見守り



・ ICT活用し患者情報の一元化・共有化

・ IoT・AIによる在宅見守り